

元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail : g04091@shugiin.go.jp ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

2007年1月1日 No.122

明けましておめでとうございます



衆議院議員 細川律夫

公正な社会をめざして

旧年中は大変お世話になりました。一昨年の総選挙敗北、そして昨年春のいわゆるメール問題と、皆様には大変ご迷惑、ご心配をおかけしましたが、何とか小沢代表のもと、結束して政権交代を目指し、国政にあたっていますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年11月行われました草加市議選では大変お世話になりました。民主党公認の3候補がそろって当選を果たすことができましたのも、皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

やはり政治にもっとも大切なものは、国がどういう方向を目指すか、という理念です。今、民主党は、「公正な社会」、「ともに生きる社会」を掲げ、小泉政権5年間で大きく広がった格差を是正し、安心できる社会を築くことを目標にしています。そのうえで、政権政党に耐えうる政策を提示し、今年の参議院選挙、そして次の衆議院総選挙に臨む所存です。

「はたらき方調査会」始動

昨年12月、民主政策調査会に「はたらき方調査会」が設置され、私が会長の任に就きました。

企業の利益率が上昇する一方賃金は伸びず、3分の1がパートなどの非正規雇用であるという現状を打破するため、労働契約や労働時間などの政策を議論し、政府・与党への対抗軸をつくることを目的に、この調査会が設置されました。

今、特に話題になっているのは、主に財界から

提案されているホワイトカラー・エグゼンプションです。労働政策審査会でも議論され、年末に導入の方向の答申が出されましたが、私たちはこれ

に対し、残業代の不払いを合法化するものであり、長時間労働、心身の健康被害を招きかねないという理由で、反対の談話を出しています。

この調査会は、こうした個別の労働法制について議論するだけでなく、管理監督者や自営業者を含めたすべての「は



たらく人」を対象に、仕事と生活のバランスや意欲をもってはたらくことのできる社会の創出といったテーマを追求してまいりたいと考えています。

今年は、私の国会活動の舞台を厚生労働委員会におき、主にこれら労働法制や「はたらき方」を中心に活動してまいります。

政策中心の活動を続ける

昨年臨時国会では、「飲酒・ひき逃げ抑止法案」、「交通基本法案」という2つの法案を私が筆頭提出者として衆議院に提出しました。

「飲酒・ひき逃げ抑止法案」は、飲酒運転やひき逃げの罪を重くし、さらに酒を提供した飲食店にも罰則を科すもので、飲酒運転に対する世論の高まりを背景に策定したものです。また、「交通基本法案」は、交通施策の策定と実施を国や自治体の義

務とし、「移動の権利」を明文化して、生活交通を守りバリアフリーを進めるものです。

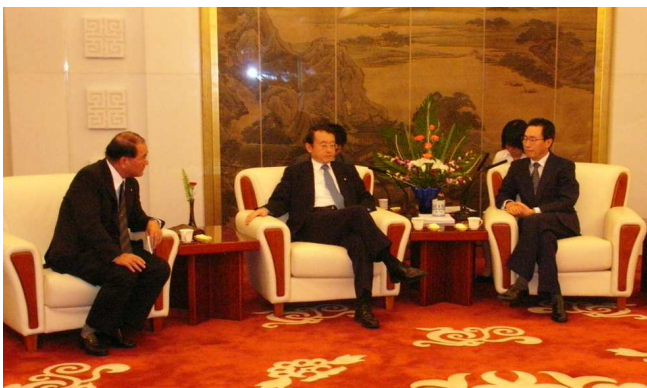
野党の提案ですから、そのまま法律となることは難しいものの、議員立法は先進的な政策を提言するための大きな武器とも言えます。私は今後もこういった政策面での提案を進めてまいります。

今、具体的に進めている議員立法がいくつかあります。その一つは、保険金殺人の見逃しなどを事前に防止するための死因究明制度の見直しです。給湯器の事故死のように死因究明が適正に行われないための被害は予想以上に大きいことが指摘されています。医療事故についても同様です。既存の役所の枠を超えて、死者と遺族の権利・利益を守る法整備を検討しているところです。

庶民負担増は許さない 社会保障改革を優先せよ

平成19年度予算案が提案されています。国債の発行額が減るのはいいことですが、企業は減税、庶民は増税と負担増という図式がはっきりしています。庶民にばかり負担を求める現状は、二極化の進行をさらに進めることになり、消費の増大に結びつかないため本格的な景気回復にもつながりません。また、年金や医療、介護といった社会保障の改革と社会福祉の向上がなければ、国民の安心を得ることはできません。こうした改革は安倍内閣には期待できません。民主党は、抜本的な社会保障改革を提案しています。

日中などアジア外交を重視



6カ国会議で議長を務める武大偉氏と会談

安倍内閣に代わって、日中、日韓の緊張がほぐれたといっても、アメリカ一辺倒の外交姿勢は変

わりません。私は、日米関係の大切さを否定するものではありませんが、対アジア外交と同等の関係であるべきと考えています。ミサイルと核により北朝鮮の脅威が増すなか、わが国が中長期的にとるべき道は、中・韓との連携を強化し、東アジア地域の安定をはかる以外にありません。

私は今後とも、日中の政治・経済の交流を通じ、政党間や民間の交流を促進していきたいと考えています。

草加・越谷は発展する

道路網 草加・越谷を通る東埼玉道路の北への延伸は、国土交通省に、また、八潮・越谷線（産業道路）の全面開通については、埼玉県に働きかけているところです。

治水 地球温暖化のせいか、大雨が増えています。かなり洪水対策は進んでいますが、油断はできません。

鉄軌道 東埼玉道路沿いの地下鉄8号線の着工が提案されていますが、今後の展開に目は離せません。越谷レイクタウン新駅は開業に向け準備が進んでいます。草加の南西部に接する足立区舎人と日暮里を結ぶ新交通システムの「舎人新線」（仮称）は平成20年3月までに開通する予定です。

まちづくり 越谷レイクタウン事業（都市再生機構）などの区画整理事業、越谷駅東口再開発（越谷市）今様草加宿（草加市）など、国の支援を受けた事業も順調に進展しています。行政や各議員と連携を取りながら関わっています。

統一地方選 4月に、草加・越谷で県議選が、そして越谷で市議選が行われます。それぞれ、民主党の公認・推薦で立候補を予定しておりますので、よろしくご支援ください。



埼玉県の要望を柳澤厚生労働大臣に伝える